

事務所

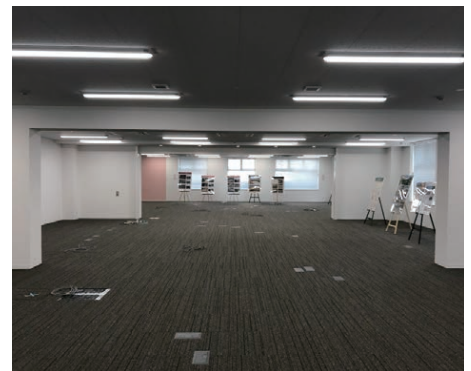


①「オール木造」として話題を集める3階建てのオフィスビル。各フロアの天井が高いため、建物高は隣の共同住宅の4階建て以上。建物の総重量が軽量なので基礎工事・地盤補強コストも軽減された。②床組の平行弦トラス。これに下地合板15mm、石膏ボード15mm、合板12mm、高密度グラスウール25mm、構造用合板を組み合わせ、遮音床仕様とした。③屋根部の中心に向かい、緩やかな傾斜がついた無落雪トラス。従来の無落雪屋根では難しかったオープンな大空間をつくり出すことができる。④2つの耐力壁を平行に密着させた「高強度耐力壁ダブルウォール(二重壁)システム」で重量と耐力バランスを確保した。

札幌の都心部に建つ 木造3階建てのオフィスビル

札幌駅から徒歩数分というオフィス街に建つこのビルは、3階建て・延床面積1,300㎡強と、ツーバイフォー工法による木造オフィスビルとして北海道内最大級の規模をもちます。三井ホーム北海道㈱の新社屋であるこの建物は、1階に住宅関係の展示や打ち合わせスペース、2階に事務所、3階に会議室や倉庫等で構成されています。多用途かつ空間可変性をもたせるために、平行弦トラスで最大9.1mの大スパン床を実現し、大きな空間を可動間仕切りや移動間仕切りで分ける設計がとられました。各区分は、二つの耐力壁を平行に密着させた「高強度耐力壁ダブルウォールシステム」で支持されています。また、設計条件である140cmの積雪荷重に耐えるために、小屋組には緩やかな傾斜をつけた無落雪型のトラスが用いられています。

このビルは都心部に珍しい木造のオフィスということで、完成後、道内の行政関係者の視察を受けたほか、多くの建築関係者が見学に訪れています。「ご覧になった方は、『木造でもこのような強固なビルディングが建築可能とは』と皆さん驚かれます。この新社屋をもとに、地球環境と人にやさしいツーバイフォーの大規模施設系建築物の拡大に努めていきたい」と、同社の社長は、意欲をもって語ります。



2階の事務所スペースは、9.1m、7.96m、7.28mと大スパンの3空間で構成されている。



1階の住宅関係の展示スペース。大空間が間仕切りでさまざまに区切られ使われている。

物件概要

Office Building

三井ホーム北海道 札幌ビル

所在地: 北海道札幌市

用途: 事務所

構造: 枠組壁工法(1時間準耐火建築物)

規模: 3階建て

敷地面積: 596.97㎡ (180.58坪)

建築面積: 469.19㎡ (141.93坪)

延床面積: 1372.66㎡ (415.23坪)

事業主: [三井ホーム北海道㈱](#)

設計・施工: [三井ホーム北海道㈱](#)

建て方工事: [三井ホームコンポーネント㈱](#)

工期: 2017年8月～2018年4月

主な法規・敷地条件: 商業地域、準防火地域、

市街化区域、建蔽率90%、容積率400%